

7: 骨髄異形成症候群(MDS)【小児】

1. WG メンバーリスト

氏名	所属	診療科
責任者 山本 将平	東海大学医学部付属病院	総合診療学系小児科学
加藤 元博	東京大学医学部附属病院	小児科
工藤 寿子	藤田医科大学病院	小児科
土居崎 小夜子	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	小児医療センター血液腫瘍科
長谷川 大一郎	兵庫県立こども病院	小児がん医療センター血液・腫瘍内科
三井 哲夫	山形大学医学部附属病院	小児科
矢部 みはる	東海大学医学部付属病院	小児科
吉田 奈央	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	小児医療センター血液腫瘍科
渡邊 健一郎	地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院	血液腫瘍科
石丸 紗恵	国立がん研究センター中央病院／Princess Máxima Center Trial and Data Center	小児腫瘍科(造血幹細胞移植科)
嶋田 明	自治医科大学	小児科
濱 麻人	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院	小児医療センター血液腫瘍科
長谷川 大輔	聖路加国際病院	小児科
柳 将人	札幌北楡病院	小児思春期科
植村 優	兵庫県立こども病院	小児がん医療センター血液・腫瘍内科
坂田 優	九州大学病院	小児科
金子 綾太	東海大学医学部付属病院	小児科
鈴木 喬悟	地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立小児総合医療センター	血液・腫瘍科

2. 会議開催記録(2023 年 1 月-12 月)

日時	場所	会議内容
2023.2.11	名古屋国際会議場 地下楽屋	7 名が参加した。 1. WG責任者引継ぎ: 吉田→山本 新規メンバー紹介: 2021年より植村優先生、2022年より坂田優先生が参加された。 2. 承認研究進捗確認 7-5 小児一次性MDS(長谷川大一郎 先生) 再解析予定 7-11 小児治療関連MDS/AML(長谷川大輔 先生) 解析予定 7-12 小児MDSに対するCBTの国際共同研究(吉田奈央 先生) コロナ禍で停滞、データセンターと相談中

		7-13 RCMD—小児とAYAの比較(濱麻人 先生) 論文執筆開始予定 7-14 JMMLに対するHaplo vs. CBT (柳将人 先生) 論文執筆開始予定 WEBで一緒に進める 3. 新規研究 SDS 渡邊健一郎先生 遺伝性WGからの提案が良いか。10例未満と思われるので、個別に調査したほうが良いのではないか。JSPHO疾患登録などを利用する方法もありではないかという提案があった。
2023.9.12	ウェブ会議	11 名が参加した。 1. 新規メンバー紹介 本年度より鈴木喬悟先生と金子綾太先生がWGに参加。 2. 退任メンバーにつきまして 東邦大学の小嶋靖子先生から委員会退任の希望があり本会議で報告し、了承された。 事務局へ報告し手続きを進める。 3. 承認研究進捗報告 7-5 小児一次性MDS(長谷川大一郎 先生) 少し前の研究提案であり対象期間を広げるよう研究提案書を提出する予定。長谷川大一郎先生と植村優先生が中心となり進める。 7-11 小児治療関連MDS/AML(長谷川大輔 先生) Raw dataは揃っており詳細な解析、論文化を進める。 7-12 小児MDSに対するCBTの国際共同研究(吉田奈央 先生) すでに本邦のデータを用いて日本血液学会で発表済み。TBI containing レジメが良好な成績であった。コロナ禍でデータ共有の契約段階でとまっていたが、再度調整し、CIBMTを含む3レジストリーではなくJapanとEurocordの2レジストリーで進める方針となった。枠組み変更に伴い、本研究は一旦閉じて、改めて新規研究計画を立てることとなった。 7-13 RCMD—小児とAYAの比較(濱麻人 先生) 対象期間を伸ばして再度解析を行い、今年度のASHに演題登録を行った。学会発表準備と同時に論文作成を行う。 7-14 JMMLに対するHaplo vs. CBT (柳将人 先生) 造血細胞移植学会で発表済み。論文化を進める予定。 4. 新規研究 吉田奈央先生よりJMMLに対する再移植の検討についての提案があった。 MDSに対する移植前のアザンチジン使用が移植成績に与える影響についての提案を山本よりしていたが、まだ症例数が少ないため、もう少し待ってからの提案が良いのではということになった。

3. メーリングリストによる意見交換 (メーリングリスト開設から 2023 年 12 月末時点まで)

(1109)回

4. WG の今後の活動方針・抱負など

1.承認研究について

2023 年度以降論文予定: 7-5 (小児一次性 M D S)、7-11 (小児治療関連 MDS/AML)、7-13 (RCMD—小児と AYA の比較)、7-14 (MML に対する Haplo vs. CBT)。

2.新規後方視解析

JMML に対する再移植の治療成績の検討についての計画提出予定。